1967
8月号
No.165
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

8月の人口と世帯
人口 7,331(−16)
男 3,658(− 5)
女 3,673(−11)
世帯数1,235(−1)

林業構造改善事業の地域指定決まる

林業構造改善事業については、昨年から部落座談会や、大字単位の説明会、その他の機会に、事業の内容説明、林業者の意向調査などを行ないその結果、村内に林業構造改善事業の実施する意欲の高まりが見られ、村では、事業実施地域の指定を申請しました。

このほどいよいよ指定が本決まりになり、村の林構事業がスタートすることになりました。今年の指定地域は、県内で「鮫川村」「船引町」「都路村」「棚倉町」の四町村です。

・推進計画

今年度は、林構事業の計画をたてる年です。基礎調査に基ずき、事業主体の意向をとりまとめ、具体的に事業が計画されます。これには現地測量や設計も行なわれ、また構造改善後の経営計画も含まれる明細なものが作られるので参加林家には、逐次調査表が配布されたり、計画樹立のための会議などが開かれ、または現地調査等があります。それでこれらのことには、十分積極的な協力を願います。

事業主体では、協業体の結成、協業体運営のための事業計画や予算等、事業主体独自の仕事も増加し、その事務処理も、補助事業に適合した処理方法を要求されますので、十分研究し、林構事業の推進に支障のないようにして下さい。

・事業の実施

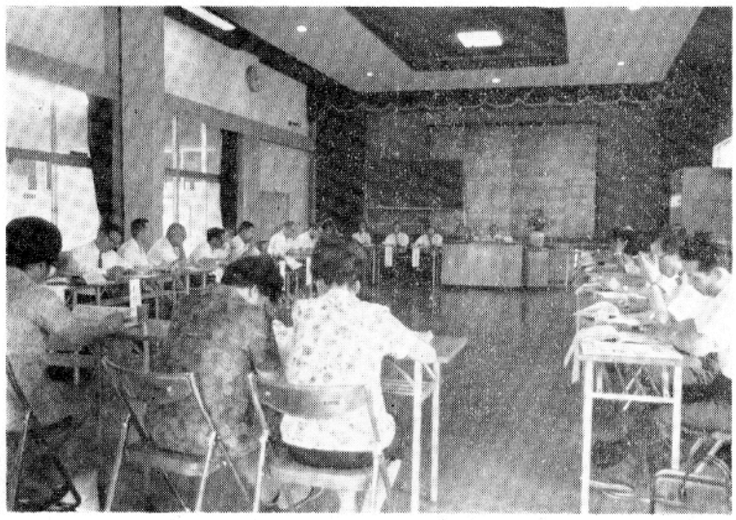
四十二年度に計画され、国の認定を受けた事業は、四十三年度より四十五年までの三ケ年に実施することになります。三ケ年の総事業費は基準が五千五百万円で、第一年度は、総事業費の三〇%、約一、六五〇万円、第二年度は四〇%で二、二〇〇万円、第三年度は三〇%、一、六五〇万円、以上の割合で、事業費が消化されます。

・林構のねらい

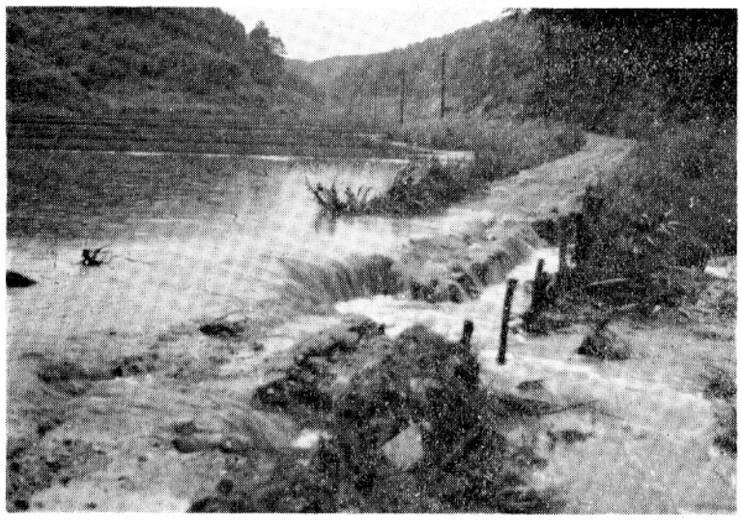
林業構造改善事業は、一部の人のため、また、一人の篤林家をつくるためのものでありません。基盤整備、機械化近代的な施設等、村内の林業経営者全体の水準を引きあげることに目的があります。

したがつて、みんなの意見をよく聞き、調整して、地域の人達の自主的な総意によつてすゝめる事業であるから、みんなが現状から少しでも明るい希望がもてるように、よく相談しあうことが大切です。

特に林業は、構造改善したら、すぐに所得が向上するものではなく、しだいに効果があらわれてくるものですからみんなの納得のうえで、実現できる計画をつくり、そしてみんなの利益は勿論のこと、地域全体の生活の安定向上を図るようにしなければなりません。



県下の母子健康センター協議会が、7月29日村の公民館で開かれ、今後の運営上の問題などについて、熱心な討議が行なわれました。



7月17日の午後3時すぎから1時間あまりの間に78.5ミリという集中豪雨が青生野地域に降り、農地道路橋梁水路などに大きな被害がありました。

納税だより

◎保険税の決定について

今月の納税は保険税第三期分ですが、今年度の保険税は今回第三期分において税額が決定されました。

既に一・二期分は暫定賦課により納付していただきましたが、先にもお知らせしたとおり四月一日から乳児の十割給付を実施したのをはじめとし、医療費の値上げや、保険利用の増加等に伴い、保険給付費が増額するためやむなく前年に比し平均二五%の額が増税となりました。

この増額された分が第三期分以後の税金に加算されて納めていただくことになりますから、今後納めていただく税金は前年より多くなつております。

今月は七夕やお盆で何かと出費の多い月で容易でないとは思いますが、保険税は保険給付にのみ使用するものでありますから事情ご理解の上納期内納付に御協力下さるようお願い致します。

◎木材引取税申告納付について

立木（素材を含む）を売買して木材引取税を未だ申告納入してない方はすぐに申告納入を済ませて下さい。

木材引取税は立木を売買した際に、売つた人が買つた人から売買価額の二%の税金を受取つて村に申告納付する税金です。

薪炭材以外は樹種や価額の多少にかかわらず、すべて申告納入しなければなりません。該当者はおくれずに申告納入されるようお願い致します。

◎肉用牛の売却による農業所得の免税について

肉用牛緊急増産対策を推進するため、今回所得税法の一部が改正され、農家が、その飼育した肉用牛（成牛に限る）を家畜取引法に定める家畜市場で売却した場合は、その所得に対する税金が免除されることになりました。

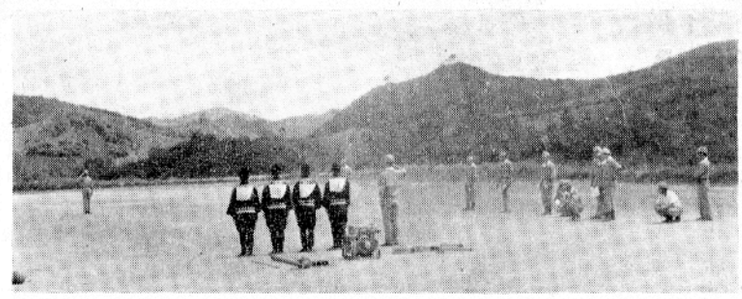
肉用牛飼育農家にとつては大変有利な措置です。

注意しなければならないのは家畜市場において売却した場合に免除されるのであつて、庭先で売却した場合は対象になりません。

畜産家の皆さんに市場で売却するようおすすめします。

なお、この制度の適用については、所得申告の際に市場で発行した証明書を添付することによつて免税となるわけですから、市場で発行した証明書は紛失しないように保管して下さい。

（小牛の売却は免税対象になりません。また適用期間は昭和四十二年六月一日から向う五ケ年間であります。）



ポンプ操法競技会

消防団員の基礎的な訓練の一環として、また、消防技術の向上及び消防活動に遺憾なきことを目標として、毎年消防ポンプ操法競技大会が開催されています。

今年は県と県消防協会が主催となり県大会が八月二十四日郡山で行なわれます。

郡予選会が去る七月二十七日塙小校庭で実施され、本村からは、自動車ポンプ（第五分団、二号車）係員、小型動力ポンプ（第一分団第二班、馬場）係員の二チームが出場して健斗しました。

審査の結果は次のとおり。

◆自動車ポンプの部

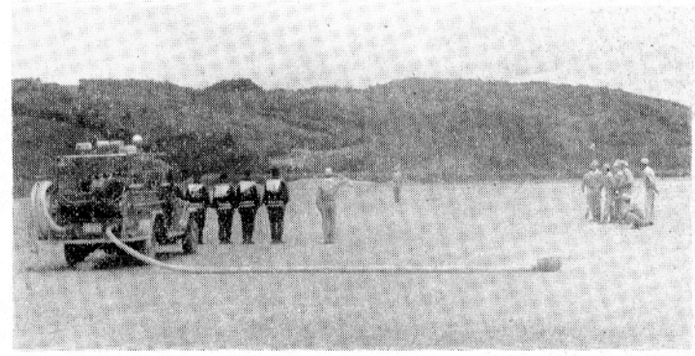
一位　塙町第五分団
二位　鮫川村第五分団
三位　矢祭町第三分団
四位　棚倉町第六分団

◆可搬動力ポンプの部

一位　塙町第四分団
二位　鮫川村第一分団
三位　棚倉町第一分団
四位　矢祭町第三分団

各一位のチームが県大会に郡代表として出場します。

★　☆　★　☆



よろこばれる母子健康センター

鮫川村母子健康センターは母子の健康を守り、家庭を明るくする施策の一つとして、開設されましたが、昨年からは福島県知事から助産所の指定をうけ、ごく僅かの経費で安心してお産ができることから、41年度は 148名の入所者があり、御本人はもとより家族の皆さんからも大変よろこばれております。

7月29日県内各市町村の関係者が会議に来られて、センターを視察されましたが、整備された施設や、運営サービスの行き届いていることに一驚されました。





二つの町に学ぶ

村長　石田卯子八

先月、議員団に同行して、隣県山形の特色ある二つの町を視察する機会を得ました。

その一つ「川西町」は米沢市の西北、置賜盆地の南部、米坂線に添つて羽前小松がその中心になつている町です。

中央部を最上川の上流、犬川が北に流れており、昭和三〇年に一町五ヶ村が合併して生れた町で、世帯数四八五一人口三〇、五四七あります。

犬川の両岸にひらけた豊沃な水田は四九〇〇ha、置賜の穀倉を形成し、見事な成育の稲田が続いています。この町の総世帯に占める農家戸数は約七割で、農業の比重が極めて高い町です。主産物は三十三万俵の米、九万kgの繭、七〇〇頭の仔牛で

肉用牛　二、四六三頭
乳牛　三五二頭

の飼料頭数は、さすがに著名な米沢牛の本場だけあるという感じです。従つてこの産業に注ぐ力の入れ方は非常なもので、農業構造改善事業で農協が作つた玉庭放牧場は

総面積二〇〇ha
事業費二、三六一万円

しかもこの用地は、農協が全部買収済の固定資産になつています。

ここに肉用牛繁殖センターを併置し、専用の牧野も開発中です。ところが、四十一年度決算をみるとこの放牧場の運営費は八四三万円程で五〇七万円の赤字、繁殖センターは三一八万円の運営費で二七八万の赤字になつており、更に四十二年度になると、放牧場六〇五万円、繁殖センター六九一万円の赤字となるが、これはすべて町費をもつて補塡することになつているということです。

先行投資の過程で、生産を伴わない期間にある繁殖センターはともかくとして、放牧場の規模、運営、管理の面には問題があり、赤字はすべて公費で補塡するという安易な行政措置には批判の余地が多分にありそうです。

もう一つは「白鷹町」で、置賜盆地の北端にある世帯数四六一八、人口二三、三四三人の町です。

昭和二十九年に一町五ヶ村が合併した町で、川西町よりは稍々小さいが、町役場も市役所を思わせる堂々たるもので行政の組織や運営も近代的なセンスに満ち、いわゆる優良町村の姿を備えております。

主要生産物は、米、繭、ホップ、たばこ、りんご、ぶどうと数多く、乳牛七五〇頭、肉用牛七五〇頭と畜産も盛んです。工場は日魯漁業の缶詰工場その他が着々誘致され、町としての体容が次第に形成されつつあるようです。

文教、土木、環境衛生などの諸施設も一応整つており、上水道の普及率は六七%に及んでいます。役場機構の中では住民課にあるセットされたビジファイルが誇らしげでした。この二つの地方自治体をくらべてみると、強い対照的な感覚があります。「川西」が米沢牛の伝統を守りながら産業の近代化に行政の主力を向けようと努めている姿が尊いものに感じられる反面、「白鷹」は一部局に偏せず、自治行政の万般に配意しながら住民の福利と便益を図ろうとしている姿も学ぶべきものと思います。このことは、産業―住民所得の向上に、行政上のバックアップを強く要請される段階と、それらのことを一応自主的な産業団体機関の活動に委ね、広く住民福祉や人間開発に力を向け得る段階に入つた地方自治体との体質の相違と見ることも出来ようと思うのであります。

技術の歩み (4)

議会だより

第九回臨時議会

去る八月四日に臨時議会が招集され、昭和四十一年度特別会計決算等六件の議案が審議されましたが、いずれも原案どおり可決されました。

一議案第二十八号　昭和四十一年度鮫川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（原案認定）

(1)事業勘定（国保）
歳入総額
二九、〇三〇、〇〇九円
歳出総額
二六、九四〇、七八一円
差引残額
二、〇八九、二二八円
剰余金から条例にもとづき七〇七、〇〇〇円が保険給付費支払準備基金に積立てるので四十二年度会計に繰越される額は一、三八二、二二八円です。

(2)直診勘定（診療所）
歳入総額
九、九九六、四三〇円
歳出総額
八、〇一〇、三〇〇円
差引残額
一、九八六、一三〇円
（四十二年度に繰越）

二議案第二十九号　村議会の議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例（原案可決）
議長（月額）一五、〇〇〇円
副議長（〃）一三、五〇〇円
議員（〃）一二、〇〇〇円

三議案第三十号　村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（原案可決）
村長（月額）八五、〇〇〇円
助役（〃）六五、〇〇〇円
収入役（〃）六〇、〇〇〇円

四教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例（原案可決）
教育長（月額）五六、〇〇〇円

この三件は、いずれも特別職の報酬及び給与等の改正であるが、これは過般県事務所町村会及び議長会の合同協議会において協議され、且つ鮫川村特別職報酬等審議会によって慎重に検討されその答申にもとずき提案されたもので議会においても慎重審議の上決定されました。今回の改定は郡内各町村との調整をとり県内各町村の実状等を勘案して改正され、報酬等審議会も議会も、一般職員の定期昇給及びベースアップによる給与との均衡、及び県や全国町村の給与の趨勢等諸般の実情からして止むを得ないものとして決定されました。

なお、「**区長、農業委員、その他の非常勤の特別職の日額報酬等の増額についても増額する考えがあるか**」との質問に対し、議員の報酬を増額したから、今すぐにその他の特別職も増額することは困難であるが、その必要性は認められるので、隣接町村との均衡や、財政事情を勘案して考慮したい旨答弁があった。

五議案第三十二号　昭和四十二年度鮫川村一般会計補正予算（第二号）（原案可決）

このたびの補正は、主として特別職の報酬等改正に伴う補正と、保育所整地費、農用地交換分合事業関係、それに鮫中の産業教育設備費等の補正であります。補正総額は一、八二五、〇〇〇円でこれで一般会計の予算総額は一四五、〇二一、〇〇〇円となります。

六議案第三十三号　鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例（原案可決）

これは、東野分校、西野、西山、青生野小学校の敷地の合筆により地番が変ったために改正されたものです。

（議会事務局）

議員研修視察随行記 (一)

今や、鮫川村は農業構造改善事業を中軸として畜産業等の発展を期しており、且つ阿武隈山系の開発がクローズアップされて参ったときでもあり、本村議会では全議員参加により去る七月七日から二泊三日の日程で、畜産業及び行財政運営の先進地である、吾妻高原牧場、山形県川西町の肉用牛繁殖育成センター及び山形県白鷹町役場の一般行政事情等を研修視察して参りましたので、随行記としてその内容をとりまとめお知らせ致します。



高原牧場の頂上…ここに乳牛・和牛合せて二六五頭が入山していた。



吾妻高原牧場で係員の説明を聞く議員一行

◆吾妻高原牧場（福島県吾妻町）

福島市から一六K、スカイラインの途中高湯温泉の北側へ牧道で開設された新道を四K程行くと、広漠たる原野が開けている。これが標高七七〇m の地点、吾妻連山の一隅にある高原牧場だ。天を仰げば吾妻小富士を頭上にいただき、東に福島盆地の市街を遠望できる様は、まさに雄壮そのものである。

この牧場は福島市と吾妻町が共同で経営している。六三町歩の牧野には二六五頭の牛が放牧され、三人の管理人によって管理されている。現在九五町歩の牧野を開墾中であるが将来は一、〇〇〇頭の放牧を目標に三〇〇町歩に拡張するそうだ。予算も総額三億円を見込む大規模な計画を樹立している。

この土地は全部市と町の公有地であり、本村のごとく大部分が国有地に依存しなければならないところとは条件があまりにも違いすぎる感がある。

放牧期は五月から十月末までの六ケ月間であるが、独立採算経営のため年間放牧の技術的な検討及び関連事業として観光事業と直結させ経営の合理化を図りたいという構想もあるようだ。

（議会事務局　前田）

農地相談 (一)

「農道の地目変更」

〔問〕　昭和二十五年に私の部落で農道を改修いたしました際、それぞれ関係者が農地の一部を提供して作りましたが、当時なんらの手続もしないので、現在も地目は農地のまゝ残つていて種々の不都合を感じております。地目を現況地目に変更したいと考えていますが、その手続は如何にすればよろしいでしょうか。

〔答〕　農地の一部を農道に転用したとのことですが、一筆の一部が転用されたような場合には、まず、分筆の登記をし、その上で地目変更の登記をすることが必要です。分筆の手続は、まず、農地の部分と非農地の部分に分けて積の測量図を作製し、その測量図を添付して、登記所に分筆登記の申請書を提出することになります。

地目変更の手続は、登記所に地目変更登記の申請書を提出すればよいわけですが、この場合、その申請書に農業委員会の現況証明書を添付して提出することがよいと思います。地目変更登記の申請があつた場合には、登記官は実地調査により現況を確認の上登記手続をとることになりますが、農業委員会の現況証明書が添付されているときはそれによつて現況を確認し、実地調査を省略して登記手続を進めることができます。

（農委）



村では小型消防動力ポンプを塔載する自動車二台を購入し、第六分団（富田）と第七分団（青生野）に交付したので、村内全分団が機動力をもつことになりました。

★ 8月の納税 ★

保険税第3期分です

納期限……8月25日

おくれず　わすれず　納期内納付を実行しましょう。

青生野に現地研修をして

須藤美代子

夏空の照りかげりする一日を私達推進員一同はかねての念願であつた農業構造改善事業の、青生野牧野、桑園の現地研修に向いました。

車窓から見渡す水田には無残にも土砂が流出し、道路の決壊は甚しく二日前の集中豪雨のはげしさを如実に物語つて居りました。

林の道を車はあへぎながらのぼりきると、急に目の前が大きく展け心も広くなつた様な心地でした。標高七〇〇米とは思えぬ広々とした牧野にあそぶ牛の群れ、まさに絵のようでした。桑園の管理室にて昼食をとるまももどかしく養蚕協業の桑園の頂上めざしてのぼりました。

心地よく吹きぬける風に見渡す限りの桑の葉が真夏の太陽を黒々と照り返して、その見事なこと、只々これまでの組合員の方々又関係機関の方々のお骨折りに頭の下る思いでした。

山をきりひらいて畑にもまさる牧草や桑の葉が出来ることをまのあたり見た私達の感動は異常なまでした。今後の農業経営の上に大いに役立つものと信じます。

規模の大きい事業なだけにどんなにか、あらゆる面に御苦労なされたことか、又協業のもとに結束した人の力の偉大さに今更ながら驚くばかりでございます。

今後もいろいろと問題があると思いますが、もう一息更に手を握り合つて進んで下さることをおねがいすると共に私達も心からなる声援をおくつてやみません。

（生改推進員会長）

明るく正しい選挙
指導者研修会の中から

鷲野弘行

今年度第三回目の研修会が県内各地から一七六名が集り去る七月三、四、五と三日間の日程で国立磐梯青年の家で行なわれ、私もその一人として研修に参加してまいりました。その中で今回は選挙制度審議会委員の一人である大竹武七郎先生の記念講演の中から感じたことについてのべてみたいと思います。

まず我国では、選挙は官庁でそのすべてを行なつているが、英国では其のすべてを民間で行なつているのだと云うすなわち議員は国民が国民の中から選ぶものだと云う基本的な考え方からきているのだということです。

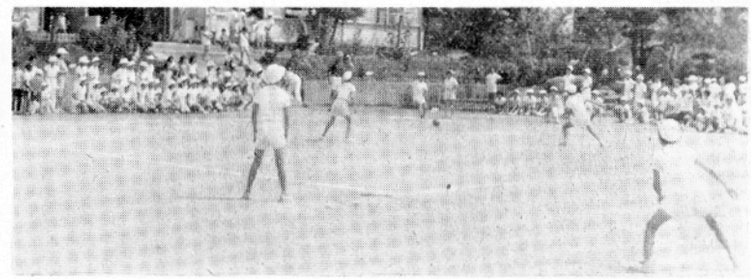
しかも戸別訪問が許されていると云う。しかし乍ら戸別訪問は票に関係ないから行う候補者も居ないという。

我が国ではどうだろうか。たしかに物事を素直に考えるならば戸別訪問など特に規制する必要もないと思われる。この辺がヨーロッパの人々とわが国の人々の考え方、すなわち選挙に対する判断の相違というものであろうか。

英国の議員は金や義理でなく、政策によつて当選するのだと云う。

又ドイツにおいては、その選挙費用の二・五%以上を国庫負担としているそうである。

いづれにせよ選挙民が、議員から何かを得ようなどと云う考え方を捨てない限り、明るく正しい選挙を望む事はむづかしいようである。



西山小が初優勝
第四回少年球技大会

村内小学校児童の団体競技を通じて親睦をはかるとともに体力向上を目的とした少年球技大会は、教育委員会、野球連盟、学校教職員協議会の共催で七月二十二日に鮫小校庭で開かれました。

当日は昨年より男女とも二チーム増えて九チームとなり石田村長の始球で試合が開始され、子どもらしいキビキビしたプレーで熱戦が展開されました。なかでも初出場の戸草分校チームが悪条件のなかでの練習にもかかわらず、健闘したことは印象的でした。

途中で雷雨にあい一時中断したが全試合を消化しソフトボール男子で西山小チーム、フットベースボール女子で鮫小Aチームが優勝しました。

◎男子走巾跳①生田目定之助 ②市川甲子男③金沢一四
◎男子三段跳①市川甲子男②青戸代吉③長井太一
◎男子砲丸投①関根英也②石塚留蔵③土手内隆夫
◎スエーデンリレー①青生野分会②東石分会③富田分会
◎女子六十米①白坂和子②我妻玲子③根本栄美子
◎女子百米①山形ハツ②関根トシ子③本郷律子
◎女子走高跳①我妻玲子②白坂栄子③関根アキ
◎女子走巾跳①白坂和子②芳賀セツ子③根本次子
◎女子砲丸投①根本栄美子②山形ハツ③白坂栄子
◎男子走巾跳①生田目定之助 ②関根英也③青戸代吉

炎天下で青年会の
第六回体育レク大会

八月一日村民運動場で百余名の青年会員が参加して開かれ、快晴の炎暑のなかで各種目に分会代表選手の健闘の結果、西山分会が総合優勝し準優勝は青生野分会でした。

各種目別の成績は次のとおりです。

◎男子百米①金沢一四②石塚留蔵③須藤一兄
◎男子四百米①加藤憲二②松本哲明③岡部照夫
◎男子千五百米①岡部啓一②沢口和久③佐川一郎
◎男子五千米①岡部啓一②佐川伸一③沢口和久
◎男子走高跳①生田目定之助

ベースアップ
された福祉年金

こんどの国会で福祉年金がつぎのように引きあげられました。

いづれも年額
老令　一万八千円から一万九千二百円に
障害　二万六千四百円から三万円に
母子準母子　二万四百円から二万四千円に

昭和四十三年一月分から実施になります。

健康な老人の方々

いつまでも健康で長生きして頂こうと村では満六〇才以上の方を対象に、七月二十日公民館で健康診断を行ないました。受診された方は五十八名で対象者の五割強でしたが悪いと診断された者は二名だけで、本村の老人が健康であることが証明されました。

この検診は老人福祉法によつて経費は全額公費でまかなわれ、無料ですので進んで受診して下さい。

写真は熱心に診察する保健所長さんと、相談に応じている保健婦さん。



鹿の角平牧場を想う

残暑御見舞申し上げます。盛夏も過ぎようとしてますが暑さはまだきびしいようです。私も三十九年以来、四ヶ年にわたり村民各位の乳和牛をお預りする監視員として無事故ですみました事は皆様の協力によるものと深く感謝しております。

私も不幸にして病を得、目下病院に入院加療中ですが、皆様から種々の御信頼を受け乍らそれに応える事も出来ず申し訳なく思つております。

まして今年は牧草の出来もよく八十余頭を完全に成育させ退牧してもらう考えでおりました。今でも鹿の角平の親牛子牛がこの暑さで給水に不自由を感じてはいないか等と病床で考えております。

今年は例年と異り牧区を変更し計画を立てたのですが、後任の方もよくお計え下さつている事と思います。牧区の移動により馴れない方には相当の苦労があると思いますが三ヶ月も経れば、呼べば一声二声答え、続けて呼べば必ず五頭十頭と引つづき山の峯より降りて来、一、二、三牧区にそれぞれ入ります。牛は人間が飼育し生育させる動物なので人間には本当に優しいものです。病気や怪我を見つける時は前十時～正午頃が一番です。この時間には私の所に寄つて来て腕を背中をなめたりして本当に可愛い動物です。

鹿の角平にはまだ開墾の余地として十余町歩に達する面積があります。これが将来牧野として利用出来得るならば百頭以上の成牛の飼育が可能になるでしょう。

区、村民の皆様が村長さんを中心にしてこの余地を更に利用価値ある、緑なす牧野にされる様祈つて止みません。

（七、三一　塙厚生病院にて）

村営渡瀬牧野監視員
蛭田近

おめでた

七月
青生野　岡部　直三　父喜一郎
石井　塩田　正三　〃昭一
道少田　前田　守栄　〃守保
馬場　鈴木　勝雄　〃勝正
八月
越虫　藤田美智代　父美喜男

おくやみ

七月
本坂　石井　直次53　本人
遠ヶ竜　森　キヨ58　静男
塩倉　矢吹　イセ40　菊次
伊柳沢　関根　イワ84　千代松
折戸　阿久津サク83　繁光　世帯主